# グランシップマガジン［ジー］vol.53

GRANSHIP magazine winter 2011

series わが羅針　第53回
## 鈴木 忠志

SPECIAL-2
## おんなたちにエール。

しずおかアーティスト・リレー㉟
イラストレーター　土屋 弘子

次世代を創る顔
ドラマー　平　陸

村松友視の文化漫遊㊳

SPECIAL-1
## 2011年しずおか 連詩の会
「昨日の森から明日の色へ」の巻

coming soon Ⅰ
川瀬賢太郎 指揮
日本フィルハーモニー交響楽団
「中学生のための音楽会」

coming soon Ⅱ
静岡の魅力　第6回フォトコンテスト
入賞作品、決定。

ART:MICHIAKI MOCHIZUKI

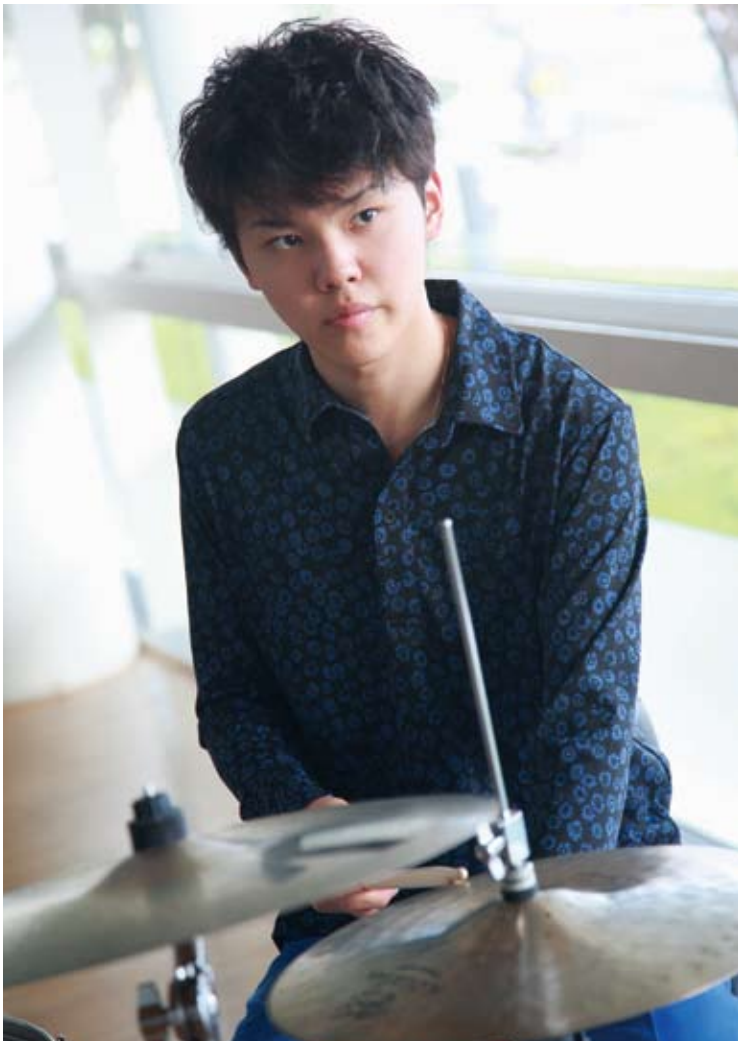
DVD『FLAT LAND』(2008年)
12歳で日本ジャス・コンテンポラリー界のトップミュージシャンとの共演を果たした、デビューDVD。
平　陸(ds)、大高清美(org)、矢堀孝一(g)、日野 JINO 賢二(b)、菅沼孝三(ds)

CD『RIKU with JAZZ SAMURAI』(2011年)
JAZZバトルが堪能できる完全限定版。ライブ会場のみの販売。
平　陸(ds)、スガダイロー(p)、加藤真一(b)

ドラマー

# 平　陸

## 近い将来、世界のステージで憧れのアーティストと共演を。



運命が出会いを呼ぶのか。出会いが運命を変えるのか。一つ確かなことは、貴重な出会いをしっかり我がものにして、今彼はそこにいるということだ。

ソファにクッションを並べて叩いた幼少の頃。"一人バンド遊び"はゲームに勝る楽しみだった。「なぜ?と言われても答えようがない。最近は神様が与えてくれたものなのかなと思ったりします。」

あるベーシストとの共演で感じた黒人のグルーヴ。リズムの取り方が変わり、それと前後して気持ちの変化も起こった。苦手だったジャズに傾倒し、音楽理論の必要性も感じ始めている。また、曲作りへの意欲が増し、ピアノに向かう時間も多くなった。「演奏者の気分を共有できる、そんな曲を作りたい」世界への野望もある。すべては始まったばかりだ。

**たいら　りく**

2歳の頃からKISSに憧れ、6歳よりドラムを始める。8歳でロックを中心としたライブ活動を始める。小泉好弘、菅沼孝三、つのだ☆ひろ、トミー・キャンベルに師事。2007年、11歳で雑誌『ドラムマガジンコンテスト』グランプリ受賞。08年『FLATLAND』DVD発売。09年、星野楽器グループ(TAMA DRUM)・ジルジャン社とエンドーサー契約。09年、『第一回ドラムマガジン ドラムフェスティバル』出演。11年春、中学校卒業を機に活動拠点を東京に移す。静岡県内のテレビ・ラジオ番組に多数出演のほか、日本テレビの番組『全力チューンズ』出演。これまでに日野 JINO 賢二、JAY、T-SQUARE、SOIL&"PIMP"SESSIONS、安達久美クラブパンゲアらと共演。また、塩田哲嗣率いるSFKUaNK!!、Darek Jackson率いるINSIGHTのメンバーとして精力的に活動。オフィシャルホームページ http://tairariku.com/　1996年静岡県静岡市生まれ。

ライヴ
『J.M.N.R Birthday tour 2012』
JAY(vo) MARIO(b) NOBU-K(key) RIKU(ds)
1/18(水) JZ Brat(渋谷)
1/27(金) SOME TIME(吉祥寺)
2/ 4(土) KOLN(富士)
2/ 5(日) Merry You(浜松)
2/ 6(月) Mister Kelly's(大阪)

Contents


次代を創る顔㊸ 2
ドラマー 平 陸

しずおかアーティスト・リレー㉟ 3
イラストレーター 土屋 弘子

SPECIAL-1 特集 4
2011年しずおか 連詩の会
「昨日の森から明日の色へ」の巻

coming soon Ⅰ 10
川瀬賢太郎 指揮
日本フィルハーモニー交響楽団
「中学生のための音楽会」

series わが羅針 第53回 11
鈴木 忠志
「シンデレラ、と王子様。」

SPECIAL-2 小特集 16
おんなたちにエール。

coming soon Ⅱ 20
静岡の魅力 第6回フォトコンテスト
入賞作品、決定。

essay 村松友視の文化漫遊㊳ 22
「由比の街道で思ったあれやこれ」 画／風鈴丸

Love Granship その、愛すべき美空間 05 24
「サイン ノ デザイン。」

information a-go-go 26〜30
●公演情報
●Just Finished!／「サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団」
●プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
●SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room

表紙アート●望月 通陽 作品タイトル：『片翼』
人の能力は一見限りがなさそうである。しかし、その限界を思い知らされる現実が、この時代を取り巻いている。所詮人間は、想像力と技術のうち、どちらか片方の翼しか身に付かぬものらしい。無論、前者の翼だけしか。
（2007年制作）

しずおか 35 アーティスト・リレー

イラストレーター
# 土屋 弘子

次回アーティスト
鈴木 康広さん

「おさるさん」 2007年
洋紙／ワトソン紙 サイズ／天地174mm×左右122mm

日本平動物園に行くたびに、記念撮影台で子どもを撮影。
ふたりの成長の様子を水彩画に残しています。
長男の背丈はもうすぐ私と同じ。
ほんの数年前の無邪気さを懐かしみながら
子どもの健やかな成長を祈っています。

ツチヤ ヒロコ●焼津市生まれ。常葉短期大学美術デザイン学科卒業後、静岡市内の広告会社にグラフィックデザイナーとして勤務。その後、イラストレーターとして独立。水彩で風景、風物、食べ物、植物などを描く。

# 連詩の会

## 「昨日の森から明日の色へ」の巻

二〇一一年　しずおか

**ついに外へと足をのばした詩人たち。**
**土地の光や風を感じながらの全四〇編。**

日本人には忘れ得ぬ年となった二〇一一年。今回の四〇篇においても、その断片が随所に見てとれた。それとは別に、静岡という場所と時間を共有した、連詩ならではの空気もまたひときわ感じられる作品にもなった。というのも、今回の『しずおか連詩の会』では、参加詩人の一人、城戸朱理氏の「せっかく静岡で会したのだから、外に出て土地の風や光を感じてはどうか」との提案により、一日目は登呂遺跡と芹沢銈介美術館、二日目は静岡市美術館、三日目には静岡県立美術館を訪問。そこから得たインスピレーション、ヒントにより、静岡ゆかりのモチーフがより多く散りばめられた作品となった。

さて、メンバーは、まず、六度目の参加で三度目のさばき手を担う野村喜和夫氏。今やこの人なくして、静岡の連詩はないといっても過言ではない。前述の城戸氏は、野村氏とは旧知の仲で現代詩のトップランナー。創作現場では終始ムードメーカーだったと聞く。さらに批評的な散文で知られる管啓次郎氏、商社でのＯＬ経験をもつ川口晴美氏。そして、第一篇は、最年少にして初参加の三角みづ紀氏が担った。

野村氏によると、今年ほどスピード感のある現場はなかったそうだ。適度な起伏をもちながら、なめらかに、軽快に一連なりの詩が完成。発表会の席では、三日間の時間を思い返し、ときに驚きと笑いを交えながら、創作現場が語られた。

創作　二〇一一年十一月十七日（木）～十九日（土）　グランシップ十二階 特別室
発表　二〇一一年十一月二十日（日）　グランシップ十一階 会議ホール・風

**連**詩とは、連句や連歌の美学をベースにした創作現代詩で、本会を長年支えてきた大岡信氏は、その提唱者であり、第一人者。定まった形式はないが、本会では、五行と三行の詩を交互に繰り返すフォームをとっている。各詩にはさまざまな視点、モチーフが織り込まれ、別の詩人が後の詩を創作し繋いでいく。発表会では、創作者による朗読のほか、繋がりを解くための解説が行われ、以下は、作品全編とその解説の一部である。

創作：グランシップ12階 特別室

## 遺跡の森、静かな海。
## 過去の蓄積の果てに今がある。

【第一番～第五番の解説】

**みづ紀：**前夜、城戸さんに何か奢るから第一番を書けといわれて（笑）。最初に訪れた登呂遺跡の情景から、今は過去となった「森」を想像しました。芹沢銈介美術館で見た「染め」と合わせました。

**朱理：**「海」と「森」は静岡らしい景色ですね。「目のない魚」は深海魚。その眠りを脅かせないほど静かな海。前詩で「問われている」ものが何か。それは語られていない。その答えを四〇篇で探していこうという気持ちで作りました。

**喜和夫：**メンバーを見渡すとまじめそう。となると連詩、連句の中の「恋の座」を担うのは僕しかないという義務感の一篇ですね（笑）。前の「眠っている」を受けたものです。「種字曼荼羅」は美術館で見た文字だけの曼荼羅のことを言っています。

**晴美：**義務といいつつ、嬉しそうでしたけど（笑）。「曼荼羅」のイメージから「めぐり流れる言葉の渦」に。前夜に食べた「桜海老」は「今朝は」身体の一部だと。野村さんとは違う、身体性に寄り添った官能の詩にしました。

**啓次郎（K）：**「口にするもの」の蓄積によって自分が「変換」される。「山」を「水」に変換してみました。「フジ」と聞くと日本人は漢字の富士を連想するけど、外国人には音だけ。それであえてカタカナにしました。

一
おだやかに澄まされた耳元が
今日という日が晴れたとて
昨日の森がどうであったのか
明日が何色に見えるのか
快晴に染まりながら問われている

みづ紀

二
「透明」を写すことはできるだろうか
静かな海　森は風にも染まり
駿河湾には目のない魚が眠っている

朱理

三
半睡のわたくしの脳のなかに
うごめいている人形
を抱く娘
を抱く老詩人
を抱くぼろぼろの種字曼荼羅一枚

喜和夫

四
めぐり流れる言葉の渦から
泳いできた桜海老が夜の底に届き
今朝はもうわたしの身体になっている

晴美

五
その身体を変換したい
その心もどこかに返還したい
海と山をそっくり入れ替えて
水でできたフジを想像する
夜空のすべてが藍色の水面となる

K

六
汽水にうつりこんだ
わたしの足、わたしの顔、わたしの感情
連なる一本が天まで伸びた

みづ紀

七
この水に恵まれた国に
人声はますます鎮まり返って
木陰はコバルトの影となる
夜はまだ若く
耳鳴りのような問いが訪れる

朱理

「それぞれの文化的記憶の違いを感じた今回。
参加メンバーによって変わる空気が毎回楽しみです。」

**野村 喜和夫**
のむらきわお

詩人。早稲田大文学部卒。現代詩の先端を走り続けるとともに、批評、翻訳、朗読パフォーマンスなども行う。詩集『反復彷徨』『特性のない陽のもとに』（歴程新鋭賞）『現代詩文庫・野村喜和夫詩集』『風の配分』（高見順賞）『ニューインスピレーション』（現代詩花椿賞）『街の衣のいちまい下の虹は蛇だ』、評論『ランボー・横断する詩学』『散文センター』『21世紀ポエジー計画』『金子光晴を読もう』『現代詩マニュアル』、CD『UTUTU／独歩住居跡の方へ』など。1951年埼玉県生まれ。

「初めての静岡は大変いいところでした。
ここでしかできない詩ができたと思います。」

**管 啓次郎**
すがけいじろう

詩人、比較文学者。明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻ディジタルコンテンツ系教授。著書に『コロンブスの犬』『狼が連れだって走る月』『トロピカル・ゴシップ』『コヨーテ読書』『オムニフォン』『ホノルル、ブラジル』『本は読めないものだから心配するな』『斜線の旅』（読売文学賞受賞）『Agend'Ars』『野生哲学』（小池桂一との共著）がある。最新の訳書はサン＝テグジュペリ『星の王子さま』。1958年生まれ。

「土地の光や風や空気にふれて動く言葉がある。
だから、ぜひ外に出たいと思ったのです。」

**城戸 朱理**
きどしゅり

詩人。詩集に『召喚』『非鉄』『不来方抄』（第5回歴程新鋭賞）『夷狄』『千の名前』『地球創世説』『幻の母』（第61回芸術選奨文部科学大臣新人賞）『世界-海』『現代詩文庫 城戸朱理詩集』他。詩論に『潜在性の海へ』『戦後詩を滅ぼすために』、随筆に『吉岡実の肖像』、翻訳に『パウンド長詩集成』『T.E.ヒューム全詩と草稿』他。共著に『討議 戦後詩』『岩波講座文学 詩歌の饗宴』などがある。1959年岩手県生まれ。

八
おお　われらが愛しき大地　　喜和夫
可憐な菫のとなりには
セシウムがかくれんぼしている

九
ひざまずいて口づけてあげよう　　晴美
生きている　ふるえている
海岸線に縁取られて
一枚の花びらのように
潤う半島

十
飛び込めばいい、海に　　K
飛び込めばいい、空に
行為が遺跡を未来形にする

十一
「階段おりたら弥生のひと」　　晴美
誘われて降り積もる時間を踏んだ
皆どこへ行ったの？
骨も思いもどこにもないのに
確かにここにつながっている

十二
きずなという言葉がきらいだ　　喜和夫
むしろきぬた　きづた
無限へと開かれたその葉の傷のような孤独

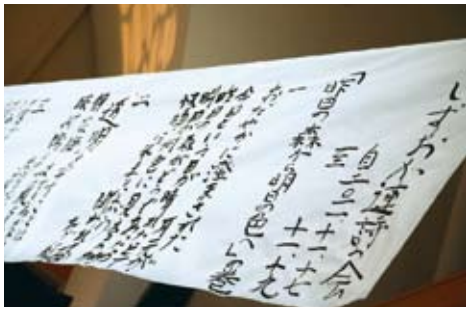
十三
黒潮は半島に衝突し　　朱理
椎の葉は茂り、椎の実が落ち
猪が山頂から転がり落ちて。
定住者の思想が蒼ざめるとき
列島に冬が訪れる

十四
そうやって閉じたまぶたで　　みづ紀
球体を考えれば粒のように鳥
月、日、星と叫ぶ声

十五
暦の推移を知るのはかれら　　K
獣たち、樹木たち。土地の
陽光を共有する陽気な仲間たち
充満する命の言葉を
私たちにも教えてよ

十六
だけどわからないことが好き　　晴美
行ったことないグランドピアノ工場の
輝く黒い翼を夢みた

# 連詩の会



## 呪文とともに響く県民の足音。恋という名のやわらかな戦争。

【第十八番〜第二十一番の解説】

**朱理：**ダンテの『神曲』の中の意味のない、呪文のような一行を引用。サタンといえば不吉なイメージ。アンデルセンの『即興詩人』にも引用されてて、今の私たちに重なるなと思いました。

**みづ紀：**書く前に前の三行を映像で想像してみると、活火山のマグマのようだなぁと。呪文でも開かない「おもい」「扉」のイメージです。一行目はわかりにくいと反対が多かったのですが、省略的な語法がいいと結局採用されました。

**啓次郎（K）：**現場からプラモデル会社が見えました。静岡県民「七十二万人」は戦わず、「光」に向かって隊列をつくって歩いていると。

**喜和夫：**性的妄想がいっぱいの詩ですみません（笑）。管さんを裏切って、また戦争ですけど、でも、やわらかな戦争ということでどうかお許しを。

十七
不意の舞台だつた　ほそくほそく
音の絹が流れ　このうへもなくしなやかな男と女が
αを描きβを描くやうに　身をくねらせてゐた
不意にまた　消炎剤のやうな闇が
ふたりを包み隠してしまふまで　　喜和夫

十八
何かがやって来る
ゆら、ゆら、と定まらぬ影のように
パペ　サタン、パペ　サタン、アレッペ　　朱理

十九
見えぬ部位である
摘まれることなく
それらの足音が響く
扉としたら
大層おもい　　みづ紀

二十
身長5㎝の兵士たちを
七十二万人の市民へと武装解除する
闇から光への行進だ　　K

二十一
ぼくが考えているのは
たとえば柔らかい戦争です
銃弾も飛ばないし戦車も走り回らない
ただ皮膚と皮膚とがふれあったりおののきあったり
残されるのはシーツの深い皺のような平和　　喜和夫

二十二
空腹では平和もむずかしい
ペッパーポットはカリブ海の料理
この辛さを分かち合って笑う　　K

二十三
笑いは波打ち、海となる
光は傾き、朝となる
赤い靴を履くと長い旅が始まる
港はそこにある
海の涯てがほのかに光る　　朱理

二十四
水の傾斜を駆け上がり
秘められた道を走り抜け
お姫さまたち　いってらっしゃい　　晴美

二十五
明るみを増す車内にて。
（このまま逃げきれるはずなのに）
外出の言葉もなく
きゃらきゃらと昼に向かう
髪を結ったわたしたちを描いて　　みづ紀

「小学生のためのワークショップも含めて
とても刺激に満ちた体験でした。」

**川口 晴美**
かわぐちはるみ

詩人。早大一文卒業。詩集『水姫』『綺羅のバランス』『デルタ』『液晶区』『ガールフレンド』『ボーイハント』『EXIT.』『lives』『やわらかい檻』『半島の地図』（山本健吉文学賞）。書評やエッセイを新聞・雑誌に連載し、大学やカルチャーセンターで創作を教え、空間で詩を体験する展覧会を企画するなど、幅広く活動中。共著『ことばを深呼吸』『女子高生のための文章図鑑』、アンソロジー選『名詩の絵本』『風の詩集』など。1962年福井県生まれ。

「二日目の夜、夢の中で連詩をしていました。
これは異常かも、と自分でも驚きました。」

**三角 みづ紀**
みすみみづき

詩人。東京造形大学デザイン学科卒業。第42回現代詩手帖賞受賞、処女詩集『オウバアキル』で第10回中原中也賞受賞。他に南日本文学賞、歴程新鋭賞受賞。2009年に初の小説作品である『骨、家へかえる』を講談社より刊行。2008年秋より朗読や歌のパフォーマンスをはじめ、ペルメージレコードより三角みづ紀ユニット『悪いことしたでしょうか』『幻滅した』の2枚のCDを発表。近著に詩集『はこいり』など。公式サイト http://misumimizuki.com/
1981年鹿児島生まれ。

二十六　異様に太い首や二の腕は男性そのもの
なのに乳房がふくらんでいる
裸のモナリザたち　裸の美都痕奴里亜（ゴッドリア）たち
喜和夫

二十七　だが最初のイヴは単数でしか呼べない
アフリカのどこかに唯一の母がいた
母がひとりで母を生み舌と技を教える
競うことなく眼差をかわして
抱擁が挨拶、舞踊が儀礼
K

二十八　これが風、あれは大地
そして言葉が生まれた、
いまだに旅をする最初の星の光のように。
朱理

二十九　船に似たこの地でわたしは思い出す
ホワイトベースという名の船に乗り
子どもたちがここにない宇宙を旅したこと
赤い彗星が閃いた
未来だった

三十　長い椅子に座った名前
それらはあまりに長い長い椅子で
気づけば午後さえ見下ろしている
晴美

三十一　時空の不思議について語ろう
ある日少年が校庭でブーメランを投げたとする
戻ってこないのでそのまま彼は立ち去るが
数十年後に老人となってふたたびそこに立つと
ようやくブーメランも戻ってきて彼の喉を切り裂くのだ
みづ紀

三十二　それから町に咲きみだれるは
桜の後に椿、後に菊、後に蘭、と
夢をみて共に揺らぐ
喜和夫

三十三　果てしなく青く広がる謎から
虹のように引き伸ばされた無数の雫が
落下する落下する落下する
滲んで離れて絡まりあって
地中ではあたらしい地図が描かれていく
晴美

三十四　人生を踏みまどうように
彼岸も見えない蓬莱橋をようやく渡り切ると
そこは常世（とこよ）、橘（たちばな）の実（み）も実り。
朱理

「創作したご本人による
朗読は、毎回感動します。
また、解説を聞くたびに
連詩の面白さが増しますね。」

**桜井 洋子** さくらいようこ
NHKエグゼクティブ・アナウンサー。
発表の席の司会は、今年で6回目。

発表：グランシップ 会議ホール・風

## ひとひらの蝶、記憶を迎える一服。そして、新しい生命、美しい約束。

【第三十六番～第四十の解説】

**喜和夫：** 愛読するニーチェの『永劫回帰』につなげようと思ったのですが、第三十一番の「ブーメラン」で回帰が出てくるので断念。連詩では戻るのは御法度ですからね。それで「川原」と「小石」から中原中也の『一つのメルヘン』の一篇を思いだし、それに出てくる「蝶」を登場させました。

**みづ紀：** 野村さんの作品は全部恋の座に見えて。だから夜の蝶かと思ってました（笑）。「ひとひら」は「蝶」。三日目は雨がひどくて。私も中也が好きで「なをも」で終わる一篇から「なお」を借りました。

**晴美：** 波紋が広がるイメージから「お茶」に。記憶はお客。訪れるたびに「お茶を淹れ」、身体は記憶で「満ちて」「やわらかく」なると。

**朱理：** 登呂遺跡に行ったりしたこともあって、過去も含め、時間の関わりが特徴的な連詩になったと思います。「昨日」「今日」「明日」とめぐる時間を提出して管さんに渡しました。

**啓次郎（K）：** その日はちょうどロダン館のガラスの天井に雨が吹き付けていました。「地獄の門」を見ながら、夜が明ければ新しい「生命」の瞬間を迎えることがあるだろうと。こういう年だからこそ、明けた朝にある希望で終えたいと思いました。

三十五　生きることが傷だと考えたとき
その痛みに言葉を失なった
傷を舐めてくれた私のオレンジ色の犬は
川原を永遠に歩いている
小石が水を切り私は声をとり戻す　K

三十六　夕まぐれちかくの
そこだけ葱坊主のような明るみのなかへ
いましも蝶が降り立とうとして　喜和夫

三十七　残欠だろうか
この腕にひとひらはりついて
思考する瞬間が成長する
一滴が傘を射った
それからなお一滴が続いた　みづ紀

三十八　幾重にも記憶は訪れるから
あたたかいお茶を淹れましょう
それぞれの器がやわらかく満ちるまで　晴美

三十九　昨日は玲瓏（レイリオッタ）たる蝉が啼いていた
今日は激しい雨だった
千年前にも雨は降り、恋人たちを濡らしたが
明日はきっと雪が降り、樅（もみ）の樹にも雪が積（つ）み
千年後にも雨は降り、静かに岡を濡らすだろう　朱理

四十　「地獄の門」の実在を信じる必要はない
生命の薪は燃えて新しいかがり火となる
朝の美しい約束が海岸で待っている　K

創　作　二〇一一年十一月十七日（木）起
同月十九日（土）満尾
於　グランシップ十二階　特別室
参加者　詩人　三角みづ紀
城戸朱理
野村喜和夫
川口晴美
管　啓次郎

発　表　二〇一一年十一月二十日（日）
於　グランシップ十一階 会議ホール・風

# 中学生ではないアナタにも、贅沢なひとときをワンコインでおすそわけ！

ドラマ「のだめカンタービレ」で玉木宏の指揮指導にあたったのが、誰あろう、この人、川瀬賢太郎である。天才指揮者としての演技の向こうに、やはり天才指揮者が存在したというわけだ。その後、各地の有名オーケストラでタクトを振り、二〇一一年春から名古屋フィルの指揮者として就任。これまで名前の前によく〝弱冠〟という言葉が飾られていたが、もはや不要ともいえるほどの知名度とキャリアである。

そんな彼がグランシップの「中学生のための音楽会」に登場する。なんと素敵なキャスティングだろう。真摯な姿で音楽世界を創造する若きマエストロと、日本を代表するオーケストラ、日本フィル。グランシップでは、子どもたちに上質なプログラムを提供しようと〈はじめての劇場〉というコンセプトを掲げているが、これぞまさに〝本物〟。多感な中学生たちにとって、生涯忘れられない出会いとなるに違いない。

そして、この音楽会。一般の方にも席を用意した。数に限りはあり、場所も一階席後方または二階席後方。さらに通常のコンサートよりも短く一時間ほど。とはいえ、本格的なオーケストラをワンコインで聴けるとは！

曲目は、歌劇「エフゲニー・オネーギン」より華麗で勇壮、躍動感あふれる「ポロネーズ」と、交響曲史上屈指の名曲「交響曲第五番」。いずれもチャイコフスキーの作品を代表する人気のプログラムである。無論、大人の〈はじめて〉も大歓迎だ。

©三浦興一

## 川瀬賢太郎 指揮
## 日本フィルハーモニー交響楽団

平成23年度　こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業

# 「中学生のための音楽会」

全席指定※ 500円（税込）

**2012 1/26（木）・27（金）**
**1日2公演 中ホール・大地**

午前の部/10:30開演（10:00開場）
午後の部/13:30開演（13:00開場）
※ただし、席は各回とも1階席後方または2階席後方

川瀬賢太郎　©井村重人

### 日本フィルハーモニー交響楽団

“音楽を通して文化を発信する”として3つの柱を掲げて活動。「オーケストラ・コンサート」では、定期演奏会、名曲コンサート、アフタヌーン・シリーズ他、多彩なシリーズを展開。「エデュケーション・プログラム」では、夏休みコンサートや室内楽演奏、学校公演に力を注ぎ、「リージョナル・アクティビティ」では、コミュニティの活性化と地域文化の発展に寄与。2008年ロシアの名匠アレクサンドル・ラザレフを首席指揮者に迎え、「プロコフィエフ交響曲全曲演奏プロジェクト」がスタート。ピエタリ・インキネンを首席客演指揮者に招くなど、若手アーティストとの共演も積極的に行っている。また、グランシップでは2010年から「音楽家と指揮者のためのワークショップ」の企画・協力を行っている。

### 川瀬賢太郎

2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）卒業。ピアノ及びスコアリーディングを島田玲子、指揮を広上淳一、汐澤安彦、チョン・ミョンフン、アーリル・レンメライトに師事。06年東京国際音楽コンクール（指揮）において1位なしの2位（最高位）入賞。その後、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等、多数のオーケストラにて指揮。海外でもイル・ド・フランス国立オーケストラと共演。07年～09年パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）でアシスタント・コンダクターを務め、11年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団の指揮者を務める。1984年東京生まれ。

# 鈴木忠志

## シンデレラ、と王子様。

「貧乏な娘が王子様に見初められて結婚する。この格差社会で、そんな話はどうなんだろう。そもそも何を持って素晴らしい王子といえるのか。王子様イコール精神的な目標としてそのあたりの設定が難しいと思っているんです。」

### 静岡での成果。そのインパクト。

今回のインタビューのため、SCOTの本拠地、富山県の利賀村に氏を訪ねた。初雪の舞う利賀山房は、演劇人にとっての"聖地"と呼ぶにふさわしい、静謐なオーラを纏っていた。ふるさと静岡から距離を置き、利賀中心の活動に戻った世界的演出家だが、来年五月、音楽劇でグランシップの舞台に帰ってくることとなった。それが『シンデレラ』。しかも親子のための作品だ。まだ、制作の入口に立ったばかりだという氏にその構想などを聞いた。

―― 十三年間務められた静岡県舞台芸術センター（SPAC）の芸術総監督を二〇〇七年に退任されましたが、その後、静岡にはよくいらっしゃるのですか。二〇一〇年に

はSCOTとして楕円堂で『エレクトラ』、静岡芸術劇場で『リア王 4カ国語版』を上演なさっていますが。

「一〇年の末まで有度山の芸術公園のほうで〈有度サロン〉を開いていましたから、静岡の様子は折にふれて見ていましたよ。観客動員は大変そうだなとか、逆に頑張ってるなとかね。〈有度サロン〉では、政治家や建築家、文化人と議論したり、私は芝居を上演したり。3年間やりました。」

――芸術総監督に就任当初、〝文化振興とは精神のベンチャービジネスである〟とおっしゃっていたことが強く印象に残っています。振り返って、静岡におけるビジネスの成果はいかがでしたでしょうか。

「私の実感としては、もの凄くインパクトがあったと思っているんですよ。ただし、それは県内ではなく、県外でね。だって、あの当時、ロシアの大臣やら大統領やらがシズオカ、シズオカといって、予算を付けてボリショイのスター達を送り込んできた。そんなこと、普通はないですよ。東京の大プロデューサーを通すならともかく、地方の一財団が外国の政府を相手に交渉して、一流の芸術家を招聘するなんてことはなかなかない。そういう意味で県外の人たちは、静岡に驚き、注目したんですよ。さらに静岡での成果は私自身にも及んでいて、先日、エディンバラの芸術総監督から手紙が来たんです。〈ロンドン・オリンピック〉に各国の文化大臣がみんな集まるからサミットを開きたいと。ついてはその際、芝居の上演とスピーチを頼みたいというわけ。こういうことも静岡の十年間で知れ渡ったことが大きいんです。たまたま私がリーダーだったから、私のもとにこういう声が届くわけだけど、それを支えたのは静岡の考え方であり、静岡の財力であり、静岡に集まった優秀な人たちなんですよ。言うまでもなく、集団芸術というのは私一人ではなく、集団の結束力が大事なんです。でも、ヨーロッパなどの前例から見てもそうなんだけど、普通は行政と芸術家は対立する。それが静岡では少ない方だったと思うね。だから〈シアター・オリンピックス〉みたいなものがやれた。それは驚くべきことで、静岡県民が思っている以上にインパクトはあったし、宣伝効果はあったということは実感しています。」

――二〇〇九年の十二月、グランシップ開館十周年の記念事業で、SPACと文化財団の初の共同制作作品としてオペラ『椿姫』を手がけられましたが。

「オペラならではのいい体験をさせてもらいました。ミラノのスカラ座をはじめ、オペラ演出の依頼はたくさんあるけど、オペラみたいなものはやっぱり傍に理解をしてくれている人がいないと大変なんだよね。指揮者との関係、歌手との関係、劇場を支えている人との関係。そういう人間関係がきちんとできていないとできないものだから。今、いい加減な演出がいっぱいあって、新作と言っても、こんなことでもできる、というものばかり。規模の小さなところでインチキをやっているんだな。アイデアだけポンと出して、コチョコチョっとやってる。だから、演出が浮く。ちゃっちぃんだよね。きちんとコンセプトやプロデューサーを立てて、演出を考えて、この歌手、この指揮者で…と、そういういう準備が大抵できていない。その点、『椿姫』では、田村さん（グランシップ館長）が音楽に通じた人だったからよかったんだよ。もちろんもっと時間をかければ…というのはあるさ。芸術だからね。でも、あの中ホールの規模で、それほどのお金もかけずによくやったと思いますよ。」

2010年12月、グランシップ開館十周年事業としてSPACと文化財団の初の共同制作作品、オペラ『椿姫』を上演。会場となる中ホール・大地とその裏手にあたる静岡芸術劇場とを隔てる扉が開館十年目にして初めて開いた。

## 本当は子どもが苦手。

――今回は静岡と富山の初コラボで、しかも音楽劇を手がけられるということですが、題材に『シンデレラ』を選ばれたのは鈴木さんご自身ですか。

「それは私が言ったんだけどね。グランシップは以前、ロッシーニのオペラ『チェネレントラ（シンデレラ）』を呼んでるけど、今回は児童劇でしょう。実を言うと、私は子どもが苦手なんだよ。子どもとキャッチボールをしたこともないんだから。昔、外国から帰って、子どもの顔を見に東京に一晩泊まったとき、子どもに〝おじさん、また遊びに来てね〟と言われてショックだったんだよ（笑）。それ以来、子どもの目なんてまっすぐに見れない。そういう人生だったからね。ただ、自分は子どもだなぁという認識はあるんだよ。いつまでたってもガキ崩れだなあと。でも、実際の子どもはうるさくてしょうがない。やさしくしないといけないし、こまっしゃくれているしね。これまでにも学長の依頼がいくつかあったけど、みんな断るわけ。だって、わかるでしょう？思わず過激なことを言っちゃうから。親にいろいろ言われるだろうから、そういうものには近づかないことにしていたんだよ。でもね、田村さんがまだNHKにいた頃、突如静岡に訪ねてきて、私を応援してくれたんだよ。だから、やらないわけにはいかないよね。そういうところは義理堅いんだよ（笑）。」

――シンデレラ・コンプレックス、シンデレラ・ストーリーなど、この物語から派生した語もたくさんありますが、鈴木さんは『シンデレラ』をどのようにとらえていらっしゃいますか。

「私にも子ども時代はあったから、『母を訪ねて三千里』も、『グリム童話集』も、読んでいるんですよ。子ども話というのは面白いけれど、インチキ臭い話ばっかりだから、インチキ臭くしないようにしなきゃいけない。貧乏な娘が王子様に見初められて結婚する。この格差社会でそんな話はどうなんだろ

**【すずきただし】**

演出家。1966年別役実、斉藤郁子、蔦森皓祐らとともに劇団SCOT（Suzuki Company of Toga／旧 早稲田小劇場）を創立。76年富山県利賀村に本拠地を移し、合掌造りの民家を劇場に改造して活動。82年より世界演劇祭「利賀フェスティバル」を毎年開催のほか、国際的に活躍。俳優訓練法スズキ・トレーニング・メソッドはモスクワ芸術座やニューヨークのジュリアード音楽院など世界中で学ばれている。74年岩波ホール芸術監督、88年水戸芸術館芸術総監督を経て、95年に静岡県舞台芸術センター（SPAC）芸術総監督に就任（2007年退任）。日中韓三カ国共同の演劇祭であるBeSeTo演劇祭の創設者であり、演劇人の国際組織シアター・オリンピックスの委員の一人でもある。舞台芸術財団演劇人会議初代理事長。演出作品に『リア王』『ディオニュソス』『シラノ・ド・ベルジュラック』『エレクトラ』『流行歌劇カチカチ山』『サド侯爵夫人（第2幕）』『イワーノフ』『劇的なるものをめぐってⅡ』ほか多数。著書に『内角の和』、『劇的言語』、『劇的なるものをめぐって』、『騙りの地平』、『越境する力』、『演劇とは何か』、『演出家の発想』、『内角の和Ⅱ』、『Culture is the Body 文化は身体にある』など。ケンブリッジ大学刊行「20世紀を主導した演出家・劇作家21人」に、アジア人としてただ1人選ばれ、『The Theatre of Suzuki Tadashi』として出版されている。1939年静岡県清水市（現静岡市清水区）生まれ。

東京から富山県利賀村に拠点を移したのは35年前。「当時は、連合赤軍や新興宗教とか、そんな風に言われたけど、無理もないよね。こんな山の中に40〜50人の若者が集まったら確かに怪しげだよ。」今は違う。SCOTは日本を代表する現代劇団として活躍。また、利賀村は世界の舞台芸術家が集まる地となった。

う。問題は王子様なんですよ。王子様が登場して、めでたし、めでたしなんだから。こんな素晴らしい人に出会えましたと。じゃあ、そもそも何をもって素晴らしい王子といえるのか、だよね。金持ちの男で、東京大学法学部を出て、外資系に勤めていて、親は優しい…そんな男を追い求めている女なんて、芸術家から見れば想像力もないし、バカだよ。王子様イコール精神的な目標として、そのあたりをどこに持っていくかが難しいと思っているんです。」

――音楽についての構想はすでにおありですか。

「難しいと言いつつ、いろいろ考えていて、それでシャンソンがいいかなぁと。詩的でありながら、庶民的なところもあるからね。ロッシーニのオペラを使うと、テンポが結構速いから、稽古にかなり時間が必要だし。フランス・シャンソンを小編成で演奏したら、ちょっと面白くなりそうなんだよね。」

――グランシップでは、子ども向けといえども、子どもだましではない、上質な作品の鑑賞機会を提供しようと〈はじめての劇場〉というコンセプトを打ち出していますが、海外での公演の折などに、子ども向けの演劇をご覧になることはありますか。

「いやあ、よく見ましたよ。アメリカのミネアポリスにチルドレンズ・シアターという子ども向けの劇場があって、そこには子どものための芝居の蓄積があってね。『不思議の国のアリス』などは、やっていいと言われて台本ももらっているんだけど。つまり興味がないわけじゃない。が、さっきも言ったように自分の子どもとはすれ違っちゃってるものだからね。だから、逆に子どもを主人公にして、大人の悪い側面を出すというアプローチもあるかなとも思っているんです。オペラ版にも悪い姉妹が出てくるでしょう。両親のほうになるほどなと思ってもらえる方向もいいかもしれない。何しろ今は親が悪いんだから。子どもを叱らないし、責任を取れないしね。先日、今度教えに行く中国の大学から先生が来てね。私の訓練を見て何を言うかと思ったら、中国の学生がこの厳しさに耐えられるかわからないというわけ。どうしてかというと、一人っ子政策で、まして国立の芸大だから金持ちの子ばかり。甘やかされているんだよ。中国ですらそうなんだからね。今回もやる以上は楽しいものにしたいけど、それだけじゃなくて、精神的なことを言いたいなと思っているんです。王子様というより、未知の素晴らしいものに憧れて、もっと自分を成長させるものに出会いたいという、うまい構図ができればいいんだけど。現段階では、未知の島国があって、シンデレラが冒険に出かけていくという話にしようかなと。まわりのみんなは夜になったら帰ってくるんだよ、と言うんだけど…まあ、どうなるかね。やってみないとわからない。今の少年少女に、こういう気持ちを持つといいよ、人生を積極的に考えて生きていきなさいと励ましを与えられるような、親には子どものそういう気持ちを前に押し出してあげられるような、そういうものをやりたいなと思っているんです。」 G


親子で楽しむパフォーミング・アーツ

**音楽劇「シンデレラ」**

**静岡公演　静岡芸術劇場**

**5/4(金・祝)・5(土・祝)・6(日)**

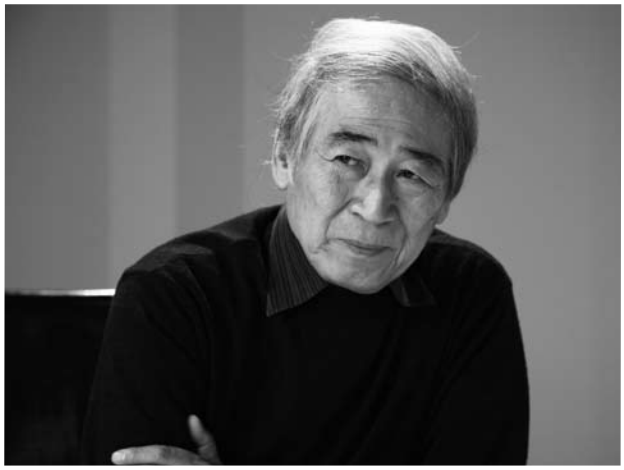
**富山公演　富山県民会館 大ホール　5/13(日)**

**沖縄公演　沖縄市民会館 大ホール　7月下旬**

**演出：鈴木忠志**

**制作：劇団SCOT、(財)静岡県舞台芸術センター**
**(財)静岡県文化財団、(財)富山県文化振興財団**
**沖縄市経済文化部文化観光課**

※詳細は2月頃発表予定



ガス暖房をお使いのお客さまにお得な料金プランのご提案

# ウィズガス住宅 ぽかぽかプラン

今年の冬は、ガス暖房であったか!

## 快適なガス暖房がとってもお得になりました。

立ち上がりが早く、燃料切れの心配のない、
快適なガスファンヒーターまたはガスストーブと
「ウィズガス住宅ぽかぽかプラン」で、
今年の冬は、お部屋もお財布もあったか!

ガス暖房機器

＋

ハイブリッドカウンタ

でお得な冬をお迎えください。

「ウィズガス住宅ぽかぽかプラン」は、ガス暖房機器をご利用いただくお客さまのための暖房期限定の割安プランです。
お客さまのご自宅にハイブリッドカウンタ(設置料無料)を設置していただき、〝長時間使用量〟を計測し、通常使用量とは別に暖房料金を適用することで暖房期に割安でガスをご利用いただけます。

**暖房料金適用期間**

| 5月～10月(通常期) | 11月～4月(暖房期) |
|---|---|

※暖房料金の適用期間は、暖房期(11月分～4月分)の6カ月間です。
※通常期(5月分～10月分)は、ガスメーターにて計量した使用量に通常料金を適用いたします。

## いま、ガス暖房が安い!!

| 平成23年1月～10月の平均灯油価格 | | 平成23年1月～10月の平均都市ガス価格 |
|---|---|---|
| 1,816円/18ℓ | VS. | 1,583円/18ℓ |

(石油情報センター、静岡県配達価格)
※灯油販売店により実勢価格は異なります。

(都市ガス(天然ガス)の持つ熱量を灯油熱量に等価換算)
※〝長時間使用量〟部分の都市ガス価格です。
※別途基本料金(210円)がかかります。
※平成23年1月～7月の原料費調整を反映。

さらに ガス浴室暖房乾燥機、ガス温水床暖房をご使用のお客さまは
**年間を通して通常使用料金の3%を割引**

※「ウィズガス住宅ぽかぽかプラン」をご契約いただくには、お申し込みが必要です。※適用条件等、詳しくは、静岡ガス各支社までお問合せください。


くらしを考え、明日をつくる。
SHIZGAS 静岡ガス

**静岡支社** 静岡市駿河区池田28 TEL.054-285-2111
**富士支社** 富士市荒田島町10-52 TEL.0545-52-2260
**東部支社** 沼津市岡一色809 TEL.055-927-2811

静岡ガスホームページ http://www.shizuokagas.co.jp/

# おんなたちにエール。

一昔前まで「なでしこ」といえば楚々と可憐なイメージ。
それが今はイキイキと逞しくてチャーミングな女性の代名詞だ。
歴史の移ろいとともに女性の生き方そのものが変わってきたのか。
それとも本質は変わらずに時代によって照らし出す部分が違うだけなのか。
いずれにしろ、女性は時代を映す鏡なのだ。
さて、2012年春、グランシップがおとどけするのは
そんな女性たちを主役にした4つのプログラム。
雅な色あり、凛とした薫り、下町の気質、そして、戦後65年の活写あり。
身近な誰か、あるいはわが身と照らし合わせながら
その時代の風を感じてみてはいかがだろうか。

2012.3/10～　おんな写真展より
秋山庄太郎「吉永小百合」1968年

# 覚悟の女。思う女。美しい女。

能 「吉野静」

能 「巴」

## 様式美の奥底からあふれでる情念。初春、若い演者による能楽をぜひ！

かつて能楽は女人禁制の世界であった。だからこそ女性の描き方については、緻密で深いものがある。女性役は女面を用いるが、それは姿を借りただけのこと。その奥深いところに辿り着けなければ演じることはできない。年若い演者であれば、一層の鍛錬、探究が求められるところだろう。

そこで注目したいのが二十代半ばながら、すでに宝生流宗家を継ぐ宝生和英。新春の『グランシップ静岡能』にて演じるのは『吉野静』の〈静御前〉である。源義経に縁深い白拍子による〈しずやしずしずのおだまきくりかえし…〉の一節は有名。舞装束が印象的な一曲だ。

若いといえば、狂言『墨塗』でシテを務める三宅右矩も二十代。人間国宝を祖父にもつ、今をときめく和泉流狂言師である。『墨塗』は、嘘泣きする女の話。顔に墨を塗るという奇抜な演出、狂言らしい結末もまた一興だ。

愛人である女武者〈巴御前〉を主人公とした『巴』も必見。女性をシテとする曲は〈鬘物／三番物〉が中心だが、これは女性をシテとした唯一の〈修羅能〉である。

**あらすじ**

**能「巴」（ともえ）**

木曽からやって来た僧は栗津ヶ原で女に出会う。女は木曽義仲が祀られている事を語り去って行くが、今度は甲冑姿で現れ義仲の最後と自分の戦いを見せ、義仲の命令で木曽に戻らねばならなかった恨みを述べる。

**狂言「墨塗」（すみぬり）**

田舎大名が故郷に帰ることになり、在京中に馴染んだ女のもとに別れを告げにいく。女は涙を流して悲しむが、よく見れば涙ではなく皿の水。呆れた大名が太郎冠者に水を墨に入れ換えさせると、それと知らぬ女の顔はまっ黒け。気がついた女が、名と冠者にも墨をなすりつけ、揃って顔がまっ黒け…。

**能「吉野静」（よしのしずか）**

頼りにしていた吉野山の衆徒が心変わりしたため義経は落ちのびた。佐藤忠信は都道者に変装して静御前と示し合せて山に残り、静は義経の忠心と武勇を訴えて舞を舞い、衆徒は舞の面白さに時を忘れてしまうのだった…。

**◆三宅右矩**（みやけすけのり）
（和泉流狂言方）
1987年「靭猿」初舞台。父は三宅右近〔重要無形文化財（能楽）総合指定〕、祖父は三宅藤九郎（人間国宝）。1983年東京都生まれ。28歳。

**◆宝生和英**（ほうしょうかずふさ）
（宝生流シテ方）
1991年初舞台「西王母」子方。東京藝術大学音楽学部邦楽科能楽宝生流卒業。2008年宝生流二十代宗家を襲名。1986年東京都生まれ。25歳。

グランシップ伝統芸能シリーズ

## グランシップ静岡能

チケット発売中

2012年1月21日（土） 14：30開演（14：00開場）

中ホール・大地　S席 5[完売]0円　A席 4,000円　学生 1,000円

# たくましい女。笑う女。しなやかな女。

## 戦後復興の時代
1945-59

木村伊兵衛「農村の娘」1953年

## 高度成長の時代
1960-79

松本路子「オノ・ヨーコ、ニューヨーク、1974」1974年

「おんな」と題する写真集を開いて、
私は頁を繰る手をとめることができなかった。
一枚一枚の写真に「ウオーッ」と
声をあげたいような、
なつかしさと、感動がこみあげてきた。（序文より）

展覧会の図録は、そんな瀬戸内寂聴氏による序文「おんなたちの命のあかし」で始まっている。

「おんな―立ち止まらない女性たち」は、1945年の終戦から現在に至るまでの日本の女性たちと歴史を重ねた写真展である。戦後の困窮の中、日本の家族を支えた母たちの「生きる力」。高度経済成長の陰にも女性のしなやかさ、強さが確かにあった。社会が成熟しても、あるいは混沌としても、ときに停滞、後退しても、決して立ち止まらない女性たち。写真の持つ「記録」と「表現」が浮き彫りにした女性たちの姿から、今また新たな「生きる力」が得られそうだ。

◆柳家喬太郎（やなぎやきょうたろう）

1989年柳家さん喬に入門。前座名はさん坊。1993年二ツ目昇進、喬太郎と改名。2000年真打ち昇進。1963年東京都生まれ。

# 高雅な女。優美な女。

葵のご紋も凛として
はんなり典雅なひと揃い。

春の吉例ともいえる「高松宮妃のおひなさま展」。故高松宮喜久子さまが、昭和5年、ご成婚のお支度としてお持ちになった京雛は、宮家への「おこしらえ」らしく、はんなりと典雅なひと揃い。なおかつご結婚前の徳川姓のしるし「葵の御紋」が凛とした風情を添え、芸術的価値も高い逸品だ。倭の国の美意識、女性美の原型を映す面差し、佇まいを春のギャラリーでご堪能を。

スポット展示は、お化粧道具と茶道具

## 高松宮妃のおひなさま展

2月17日（金）－3月4日（日）
10：00－17：00（最終入場16：30）
6階 展示ギャラリー

入場無料

静岡県文化団体探訪 10

# 小泉八雲顕彰会

## 八雲が愛した風土とともに敬愛の心で紡いでいく。

小泉八雲が焼津を訪れたのは、日本に帰化した翌年。アイルランド人ラフカディオ・ハーンではなく、日本人として眺めた焼津の海が取り持った縁、それが今なお続いている。

さすらいの作家、小泉八雲の魅力については、世界中の文学者が研究を重ねるところだが、その一つに説話や伝承などの編み直しの妙がある。昔話に材を求めながら、独特の感性と巧みな語り口によって蘇生・再生された物語は実に多い。

そして、それと同じような仕事をこの団体に見ることもできる。八雲の足跡を辿り、彼の目線で風土を慈しみ、彼の言葉を追いながら、守り伝えていく。八雲という財産を今に生きる会員たちが愛し、それぞれ感性で伝えていくという行為にも、やはり編み直しの妙味を感じずにはいられないのである。

命日前後に開かれる「八雲忌講習会」には、八雲ゆかりの各地から多くの参加者があるという。そうしたしなやかな交流のあり方もまた八雲らしいところだ。

- 団体名／小泉八雲顕彰会（こいずみやくもけんしょうかい）
- ジャンル／学術
- 会員数／105名
- 設立／1966年
- 代表者／内田 与悦
- 活動拠点／焼津小泉八雲記念館
- 活動エリア／静岡県中部地区
- 実績／八雲関連資料収集・保存。市内史跡の保護・保存。八雲忌講習会（会員対象）開催。機関誌「八雲」発行。八雲原作DVD「稲むらの火」貸出・解説、ほか。平成16年度第18回地域文化活動賞受賞。

静岡県内の文化活動に関する様々な情報を伝えるホームページ！ 公開中！
静岡県文化情報総合サイト しずおかの文化情報 http://www.shizu-bunka.com

## 多様化の時代 1996-2010

蜷川実花「月刊"熱帯魚"ボクタチオンナノコ」2009年

## 成熟と停滞の時代 1980-95

勝山泰佑「小説の取材旅行（瀬戸内寂聴）」1990年

写真展
# 「おんな ―立ち止まらない女性たち―」

3月10日（土）～25日（日）　1月8日～チケット発売
10:00～17:00（最終入場16:30）　6階 展示ギャラリー
一般 500円　70歳以上 300円（前売りは各50円引）　大学生以下無料
主催／財団法人静岡県文化財団、静岡県、公益社団法人日本写真家協会

## 面白き女。にくめない女。

笑い涙の向こうに愛すべき女の姿あり。

柳家喬太郎といえば、現在の落語ブームを牽引する人気落語家。レパートリーは新作落語から古典落語まで幅広く、高座に上がれば必ず観客を魅了すると言われるほどの実力者だ。そんな師匠を筆頭に、名人たちが今回は「おんな」を語るという。さて、どんな「おんな」が登場するのか。エンタテイメントの真骨頂ともいえる一席、笑いジワを気にしつつ、お楽しみあれ。

グランシップ名人会其の十
# 名人、おんなを語る。

出演／柳家喬太郎（落語）、神田 蘭（講談）
3月16日（金）　19:00開演（18:30開場）
6階 交流ホール　一般 3,000円　学生 1,000円

# 静岡の魅力 第6回フォトコンテスト

# 〈感性〉品、お披露目。

静岡の魅力 部門大賞
「夏休み」
加藤利光（田方郡函南町）

自由・アート 部門大賞
「水遊び」
中澤 仁（愛知県豊橋市）

## 入賞作品、決定

今、デジタルカメラ隆盛、一億総カメラマン時代である。しかしながら、いざ作品となると、モチーフの選び方や光の加減、構図など、実に難しいとお嘆きの方もいらっしゃるのではないだろうか。ハイテクは進めど、なかなかどうして持ち前の感性までは写してくれないのが現状かもしれない。

グランシップの開館以来2年に1度開催され、今回で6回目を迎えた「静岡の魅力フォトコンテスト」。全国から1,111点もの作品が集まり、入賞作品が決定した。審査員長を務める写真家・大竹省二氏（旧大須賀町出身）をはじめ、審査員一堂を唸らせる大作が多かった。入賞したどれも、カメラという道具が撮ったのではなく、人の感性が捉えた素晴らしい作品であった。まさにお手本。

グランシップ学生大賞
自由・アート「動物園の思い出」
大滝雅也（静岡市駿河区）

優秀賞
自由・アート「波涛」
薩川高宏（静岡市清水区）

優秀賞
静岡の魅力「お舟神事」
鈴木邦明（浜松市南区）

特選
自由・アート「異次元の世界」
三好蓉子（神奈川県海老名市）

特選
自由・アート「願いを込めて」
水谷サコ（浜松市東区）

特選
静岡の魅力「萌えぎ色の頃」
大石ます代（静岡市清水区）

特選
静岡の魅力「旧家」
駒形多禾次（島田市）

キャノン賞
静岡の魅力「宇宙への架け橋」
筒井章（伊東市）

ニコン賞
静岡の魅力「煙突のみえる街」
鈴木美喜夫（島田市）

日本カメラ賞
静岡の魅力「浜岡砂丘」
榊原真由美（浜松市浜北区）

エプソン賞
静岡の魅力「旧家」
芥川宏子（浜松市東区）

アサヒカメラ賞
静岡の魅力「お留守番」
松永愛子（静岡市葵区）

リコー賞
静岡の魅力「サクラエビ踊る」
中村哲雄（榛原郡吉田町）

フォトコン賞
静岡の魅力「祭りの子」
村上則子（島田市）

ペンタックス賞
自由・アート「寂秋」
鈴木忠男（沼津市）

富士フイルム賞
静岡の魅力「魚つり」
大杉巌（浜松市中区）

フォトコンライフ賞
静岡の魅力「満月が昇る刻」
大久保栄俊（浜松市東区）

※今回は「最優秀賞」は該当なしとさせていただきました。

今回は前回と同様、県内の風景や名所・名跡、自然など、静岡の魅力を発信する「静岡の魅力部門」の他、被写体・表現方法は一切問わず、写真の魅力・面白さ、また写真表現の新たな可能性・芸術性を感じさせる「自由・アート部門」が新設された。

静岡県には、霊峰富士や浜名湖などの豊かな自然をはじめ、国宝・久能山東照宮や韮山反射炉などの歴史的な名所・旧跡など、魅力的な被写体が数多く点在する。どう撮ったらその魅力を最大限に引き出せるか、ヒントは新春のグランシップ「入賞作品展」で。これから写真を始めたい方、必見。ぜひお楽しみに。

**審査員**

- ●大竹省二（写真家）
- ●蜂須賀秀紀（写真家）
- ●沼田早苗（写真家）
- ●織作峰子（写真家）
- ●山本晋也（映画監督）
- ●徳川慶朝（写真家）
- ●天野一（静岡県文化芸術振興議員連盟会長）
- ●田村孝子（静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ館長）

静岡の魅力　**第6回フォトコンテスト**

**入賞作品展**［入場無料］

**2012.1/15(日)～1/29(日)**

10:00～17:00（入場は16:30まで）

**6階・展示ギャラリー** 展示総数:129点

# 由比の街道で思ったあれやこれや

先日、ふと思い立って由比町をおとずれた。久しぶりに井筒屋の蕎麦をと思って店に入ると、旧知の女将さんが、新桜エビがけさあがったところだからと出してくれた。由比で桜エビ、しかも〝新〟とつく代物にありつくなんぞは縁起がいいと、私は悦に入った。そして、生の桜エビに何もつけずに口に入れると、ほのかな甘みがこたえられなかった。

シャイなご主人にもご挨拶して、私はすぐ近くの東海道広重美術館を初めておとずれた。日本橋から京にいたる版画を見たあと、〝雪の蒲原〟と噂に高い作品までもどって立ちどまると、この絵の正式なタイトルが「蒲原夜の雪」であることを知った。こりゃあたしかに名画だと感じ入りつつ、次の由比の絵に目をうつした。この作品のタイトルは、「由井　薩埵嶺」。薩埵峠の上で立ちどまりけしきを打ちながめる人たち、手前の松の枝ぶり、沖に浮かぶ帆かけ船、奥にそびえる白い姿の富士山が描かれている。名勝図として文句のない構図だ。

夜の雪が降る蒲原と、この明るい由比の絵は一対の対照画となっているのではないか……二つの絵を見くらべているうち何となくそんな気がした。雪降る夜の蒲原から一夜が明け、日本晴れの中で薩埵峠からの大パノラマ図を描く……それが広重の目論みではなかったかと、漠然と感じたのだった。

ところが、薩埵峠から見る富士山の姿に、やがて私は首をかしげた。白く雪におおわれた富士山の右肩に宝永山がなく、両袖がすっきりとした姿として描かれているからだった。宝永山にこだわるのは、自分の病い……とは自負していて、銭湯の富士山にまで文句をつけたりするのを、半分は清水から富士山をながめつつ育った身の、冗談ぶくみの特権的楽しみとさえ思っている私である。

だが、この場合のこだわりは少し冷静だった。宝永山が噴火したのは宝永四年すなわち、広重が『東海道五十三次』を刊行する二十七年ほど前のことなのだ。したがって、広重が薩埵峠に立ってこの大パノラマ図を描いた、あるいはデッサンしたとすれば、そこから見える富士山には、右側中腹に寄生火山としての宝永山があってしかるべきだろう。

そう思いめぐらしたあげく、いや……と私は思い直した。広重の写実絵は見事だが、「東海道五十三次」は写実を目的としたというよりも、五十三次の名所・名勝がもっともくっきりとする図柄を思い浮かべて描いたのだろう。絵師の企み、あるいは美学として、気になる髭でも剃るように、あるべき宝永山をスパッと消してみせたということかもしれぬ。あるいはまた、広重とても自らがすべてを踏査して作品を描いたわけでなく、薩埵峠からの眺望を描くにあたって、富士山らしい姿しか思い浮かばなかったのかも……などと、ふと思い立っておとずれた由比の街道を、私の思いは行ったり来たりするありさまでありました。

画／風鈴丸

【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。

現代に生きる城下町駿府、伝統の技。

# 駿府楽市

静岡特産

JR 静岡駅アスティ西館内

## 城下町駿府の豊かさにふれる。今川・徳川文化の遺産「駿府の技」の数々。

国際性と郷土性、モダンと伝統、機能性と芸術性が見事に調和する、
駿府ブランドが一堂に集う「駿府楽市」。
今川・徳川時代に育まれた名匠の技は、
現在も伝統工芸や地場産業などに脈々と受け継がれています。

◆郷土玩具、おみやげ
Local Toys,Local Souvenires

## 海・山の幸、東海道の名物など、心を和ませる駿府の味わい。

◆静岡銘菓、静岡銘茶
Local Confectionary,Local Green Tea

◆農産物、加工品
Agricultual & Processed goods

◆地酒、焼酎、海産物
Jizake,Syochu & Marine Products

◆駿河和染
Suruga Hand-Dyeing

◆駿河漆器、駿河蒔絵
Suruga Lacquerware, Suruga Makie(Gold Lacquer)

◆駿河指物
Suruga Sashimono

◆静岡挽物
Hikimono(Wooden W re)

◆駿河竹千筋細工
Suruga Banboo Lattice Ware

◆駿河雛具・雛人形
Suruga Original Dolls

◆駿河塗下駄
Suruga Clogs

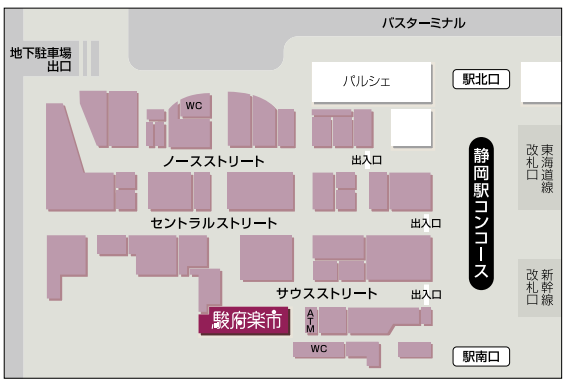
◆県郷土工芸品
Shizuoka industrial art object

**アクセス**

「駿府楽市」へは、JR 静岡駅新幹線改札口から
西側方向にお進みください。

**名前の由来**

「駿府楽市」の名は、中世鎌倉時代から戦国時代にかけて
城下町で開かれていた「楽市」にちなみました。




駿府楽市

静岡市葵区黒金町47番地 アスティ静岡西館内
TEL.054-251-1147 FAX.054-285-1093
営業時間／9:00～21:00
www.sunpurakuichi.co.jp/rakuichi/

3Fエレベーターホール

1Fロビー　大ホール・海 入口

エレベーター

## Love Granship 05

その、愛すべき美空間

3Fロビー

# 示す、導く、守る、伝える。
# サインノデザイン。

公衆電話

エレベーター

大ホール・海　コインロッカー

世の中はサインで溢れている。グランシップの館内だってそうだ。にも関わらず、それを必要としない人にはまるで何もないのと同じ。エレベータに乗りたい人は、その案内だけを探し、チケットに書かれた席にたどり着こうとする人は、背もたれの番号だけを注視する。だからこそ、そのデザインは重要なのだ。ここだよ、と求める人にだけ存在をアピールしながら、後はカメレオンのように風景の一片となりうる技量が大事なのである。

面白いのは、公共のサインは共通認識をベースにしているという点だ。青色の男性、赤い女性のシルエットは、誰の目にもトイレとわかる。これは東京オリンピックの際、言葉に頼らない案内として採用されたのが日本での始まりらしい。ナイフ&フォークならレストラン。和食の場合は箸だろう…と文句を言う人はまずいない。

そもそもサインとデザインは、親戚筋の言葉ではないのか。そうピンと来た人は正解。このピンと来る感覚、「兆し」もサインと呼ばれるものの一つだ。

1Fエントランス前

ご利用についてのご案内

［申込受付］
9:00～20:00 ※開館時間/9:00～22:00
［申込方法］
電話または当財団窓口にて直接お申し込み下さい。なお、予約受付を開始する月のお申し込みについては事前に「抽選申し込み」を受け付けています。くわしくは右記あてにお問い合わせを。

お申し込み・お問い合わせ

TEL054(203)5713 FAX054(203)6710
財団法人 静岡県文化財団　利用サービス課
〒422-8005　静岡県静岡市駿河区池田79-4　メールアドレス yoyaku@granship.or.jp
施設の空き状況は、ホームページでも検索OK！ http://www.granship.or.jp/

【チケット販売プレイガイド】
G グランシップチケットセンター TEL.054-289-9000　グランシップ　検索　グランシップホームページからは、空席状況によりお好きな席を選んで購入できます。
T 戸田書店静岡本店（葵タワー内）※店頭販売のみ　L ローソンチケット TEL.0570-084-004（発売日以降） TEL.0570-084-641（発売日特別電話予約）

concert コンサート・音楽イベント　stage 演劇・舞台　exhibition 展示会・展覧会　event イベント　talk 講演会・発表会　Workshop ワークショップ

# 公演情報
2012/1－2012/3

※12月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。

入場無料／事前申込制　2/10(金)

## 「子どもたちが伝える昔ばなし」発表会

東海道の宿場として人々が行き交い、自然にも恵まれた静岡は民話・昔ばなしの宝庫。今回は大井川流域の昔ばなしを地域の小学生が絵で表現!そこに音やセリフを加え映像化したものを上映。
■13:00～（12:30開場）
■6階 交流ホール
■入場無料（要事前申込）
※申込方法は左ページ下欄参照

チケット発売中　2/10(金)

G

## ブラス・クインテット・ウィーン＝ベルリン

ⓒR.Rindberger

ジョン・サス

世界的ソリストとして活躍するウィーン&ベルリン・フィル、オーストリア・ブラス・コネクションの金管奏者が夢の競演！最高峰の金管五重奏が、極上の音色をお届けする。
【出演者】トランペット：ガボール・タルケヴィ、ギヨーム・ジェル（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団）、ホルン：トーマス・イェプストル（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団）、トロンボーン：ディートマール・キューブルベック（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団）、テューバ：ジョン・サス（オーストリア・ブラス・コネクション）
※出演者が一部変更になりました。
【曲目】アーノルド：金管五重奏曲
エヴァルド：金管合奏のための交響曲 ほか
■19:00～　■中ホール・大地
■全席指定　S席 3,500円　A席 2,500円
学生 1,000円

チケット発売中　1/21(土)

G

## グランシップ伝統芸能シリーズ「グランシップ静岡能」

能「吉野静」

新春に華やかな舞台をお届け。「女性」をテーマに能「吉野静」「巴」、狂言「墨塗」、舞囃子「海人」を上演し、力強い女性像に迫る。宝生流宗家も出演！
【出演】
水上優、宝生和英、
三宅右矩、前田晴啓 ほか

能「巴」

■14:30～
■中ホール・大地
■全席指定　S席 5,000円 完売
A席 4,000円　学生 1,000円

→P16～参照

チケット発売中　1/26(木)・27(金)

G

## 川瀬賢太郎指揮 日本フィルハーモニー交響楽団 ～中学生のための音楽会～

日本フィルハーモニー交響楽団　ⓒ三浦興一

静岡県内の中学生を対象としたコンサート。客席の一部を一般のお客様に開放！手ごろな料金でオーケストラ演奏を堪能できる贅沢な時間。販売枚数に限りがございますので、お求めはお早めに。
【曲目】チャイコフスキー：
交響曲第5番 ほか

川瀬賢太郎　ⓒ井村重人

■午前の部　10:30～
午後の部　13:30～
■中ホール・大地
■全席指定
（1階・2階後方のみ）
一般 500円

→P10参照

入場無料　1/1(日・祝)

## 初日の出特別開放

過去の様子

初日の出と富士山とともにグランシップで迎える新年。甘酒、おしるこなどのサービスも。（なくなり次第終了）
■6:30～（有料駐車場6:15～）　■10階展望ロビー

申込受付終了　1/6(金)

静岡ガスPRESENTS

## グランシップ&静響ニューイヤーコンサート

毎年恒例の新春公演。名曲の美しい音色に彩られた、新年にふさわしい極上の時間をあなたに。
■昼の部 14:00～
夜の部 19:00～
■中ホール・大地
■全席指定　1,000円
※事前申込制
（応募受付終了）

堤　俊作

中丸三千繪

静岡交響楽団

入場無料　1/15(日)・29(日)

## 静岡の魅力 第6回フォトコンテスト入賞作品展

「静岡の魅力 第6回フォトコンテスト」入賞作品が集合。今回から「自由・アート」部門が設置され、新しい静岡の魅力に出会うチャンス！審査員は大竹省二、山本晋也ほか。
■10:00～17:00（入場は16:30まで）
■6階 展示ギャラリー

→P20・21参照

静岡の魅力 部門大賞　「夏休み」　加藤 利光

自由・アート 部門大賞　「水遊び」　中澤 仁

ボランティアスタッフによる託児をご希望の方は、公演1週間前までに㈶静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。TEL 054-203-5714
※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。※イベントによっては、託児サービスが利用できない場合もございます。

1/8(日)チケット発売 3/16(金)

G

## グランシップ名人会其の十
## 「名人、おんなを語る。」

人気落語家・柳家喬太郎と女流講談師が、女性にまつわる話芸を披露！「おんな」の魅力をお聴き逃しなく。限定300席の空間で堪能する、贅沢な時間！

【出演】柳家喬太郎(落語)
神田 蘭(講談)

■19:00～
■6階 交流ホール
■全席指定 一般 3,000円
学生 1,000円

柳家喬太郎

→P16～参照

## 「しずおかの文化新書」関連企画

「しずおかの文化新書」編集長・八木洋行がコーディネーターを務める恒例企画。今回は2012年1月・2月に発行される“お茶”と“富士山の水”をテーマにした新書に関連し、講演会と体感ツアーを開催する。

### 講演会

**「お茶王国しずおかの誕生」**

■講師：中村羊一郎
(静岡産業大学情報学部特任教授)
■日時：1月22日(日)14:00～
■会場：9階 910会議室

**「水の山・富士山の湧水のメカニズムを探る」**

■講師：土隆一(静岡大学名誉教授)
■日時：2月25日(土)14:00～
■会場：9階 910会議室

入場料(各回)：500円(要事前申込・当日支払)
※申込方法は下欄参照

### 体感ツアー

コーディネーター：八木洋行

**「静岡お茶紀行 ～藤枝・金谷・牧之原～」**

■日時：2月4日(土)

**「富士山の恵み ～母なる川・芝川を巡る～」**

■日時：3月18日(日)

※要事前申込(定員40名)
※詳細、申込方法は後日ホームページ等にて発表します。

### 「子どもたちが伝える昔ばなし」「しずおかの文化新書講演会」の申込方法

電話・FAX・E-mailにて、下記宛申込を。FAX・E-mailの場合は、住所・氏名・電話番号・参加人数を明記のこと。グランシップ「○○○」係(「子どもたちが伝える昔ばなし」、「しずおかの文化新書講演会」のいずれかを明記)
TEL：054-203-5714 FAX：054-203-5716
E-mail：info@granship.or.jp

1/15(日)チケット発売 3/8(木)

G

## 東日本大震災復興応援 大植英次の絆コンサート2012(仮称)

大植英次 ©飯島 隆

長尾春花

「復興支援コンサート(2011年4月25日開催)」出演者が再び熱演！音楽を歌い奏で、会場全員で絆を紡ぎ、思いを東北に届けよう！

【出演】大植英次(指揮)、長尾春花(ヴァイオリン)
静岡交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団
静岡児童合唱団・青葉会スペリオル

■19:00～(18:30開場) ■中ホール・大地
■全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円
※公演収益は仙台フィル事務局内「音楽の力による復興センター」に寄付します。
※静岡県内在住の東日本大震災避難者をご招待。また、1口1万円の協賛金を募っています。いずれのお申込みも静岡県文化財団(TEL054-203-5714)まで。

事前申込制 3/11(日)

## 第25回地域文化活動賞 表彰式

県内各地で優れた文化活動を行っている団体を表彰。

■13:30～ ■11階 会議ホール・風
※関連イベントも開催予定
詳細、申込方法は後日ホームページ等にて発表します。

1/29(日)チケット発売 3/25(日)

G L Pコード48001

## 海賊戦隊ゴーカイジャー ファイナルライブツアー2012

子どもから大人まで大人気の「海賊戦隊ゴーカイジャー」の主役俳優6人が出演するイベント。ゴーカイジャーと新ヒーローによるジョイントショーや俳優トークショーもお楽しみに！

©2011 石森プロ・テレビ朝日・東映AG・東映

■10:00～
13:00～
16:00～
■大ホール・海
■全席指定 S席 3,800円 A席 2,800円
※3歳以上有料、2歳以下膝上鑑賞無料

入場無料 2/17(金)▸3/4(日)

## 高松宮妃のおひなさま展

徳川慶喜公の孫・高松宮妃喜久子さまがご成婚の際お持ちになった京雛を公開。葵の御紋入りの御化粧道具・茶道具も併せて展示。雅やかな春をご堪能あれ。

■10:00～17:00(入場は16:30まで)
■6階 展示ギャラリー

→P16～参照

1/10(火)チケット発売 3/4(日)

G (店頭販売のみの取扱)

【提携公演】静岡県現代舞踊協会

## モダンダンス 明日への旅

静岡県現代舞踊協会総出演のモダンダンスの祭典！多彩なプロダンサー招くほか、急逝したモダンダンス界の巨星アキコ・カンダの最後の舞台を映像で偲ぶ。

■14:00～ ■中ホール・大地
■全席自由 大人 2,000円
子ども(中学生以下) 1,000円
■お問い合わせ：静岡県現代舞踊協会
佐藤バレエスタジオ TEL: 0538-34-1607

1/8(日)チケット発売 3/10(土)▸25(日)

G T

## 写真展 「おんな ～立ち止まらない女性たち～」

戦後から今日にいたるまでの様々な女性の姿を捉えた写真展。日本を代表する写真家の作品は必見！

■10:00～17:00
(入場は16:30まで)
■6階 展示ギャラリー
■一般 500円
70歳以上 300円
(前売りは各50円引き)
※大学生以下無料

木村伊兵衛「農村の娘」(秋田・1953)

→P16～参照

## JUST FINISHED!

**2.Nov.2011**

**サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団の終演後**

指揮者のユーリー・テミルカーノフ氏と庄司紗矢香氏

撮影：グランシップ撮影サポーター　江上秀男

## 読者Presents

**サイン入りプログラム&チケットプレゼント**

11月2日「サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団」演奏会に出演した指揮者のユーリー・テミルカーノフ氏と庄司紗矢香氏のサイン入りプログラムを5名に、2012年3月10日(土)～25日(日)開催の写真展「おんな ―立ち止まらない女性たち―」のチケットを2組10名にプレゼント。添付のハガキに住所、氏名、電話番号およびプレゼント名を明記の上、下記あてに郵送を。(平成24年2月末日消印有効)
なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係
TEL054-203-5714　※30ページのハガキをご利用下さい。

## MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

**■会員タイプ・年会費**（個人会員の初年度会費は入会月により異なります。）
- ◆個　人　会　員　年会費　2,000円
- ◆法人特別会員　年会費　200,000円
- ◆法人一般会員　年会費　100,000円

**■特　典**
- ◆チケット割引10%割引　◆チケット先行予約
- ◆公演情報誌送付　◆提携店割引
- ◆情報誌上及びグランシップ館内に社名掲載(法人会員特典)

〈チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可〉

**■お申し込み・お問い合わせ**

グランシップ友の会事務局
〒422-8005　静岡市駿河区池田79番地の4　グランシップ3階
TEL.054(203)5714　FAX.054(203)5716

**〈友の会法人会員〉**

静岡ガス㈱、㈱タミヤ、鈴与㈱、㈱静岡新聞社、静岡放送㈱、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモ、㈱劇団ひまわり、㈱ステージ・ループ、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静清信用金庫、㈱ピーエーシー、㈱テレビ静岡、㈱静岡第一テレビ、コカ・コーラ セントラル ジャパン㈱、ダイドードリンコ㈱、㈱イソウエテクニカ、㈱伊藤園、静岡エフエム放送㈱、㈱ニッセー日本平ホテル、㈱コアズ、公立大学法人静岡文化芸術大学、㈱静岡朝日テレビ、㈱天神屋、㈱望月商事、学校法人常葉学園

## 財団法人 静岡県舞台芸術センター　〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4　TEL.054-203-5730　http://www.spac.or.jp　SPAC NEWS

撮影：三浦興一

### 『グリム童話 ～少女と悪魔と風車小屋～』 SPACレパートリー

俳優による生演奏、息をのむヴィジュアル、
ポエムのような台詞――ちいさな宝石箱のようなお芝居！
シンプルなストーリーと率直なメッセージで、
2011年春の初演で、世代を超えた感動を呼び起こした話題作再び！
いま、この物語に出逢える〈奇跡〉をあなたにも。

**1/21(土)・28(土)　各日 15:00開演**

**静岡芸術劇場(グランシップ内)**

演出：宮城 聰　作：オリヴィエ・ピィ　出演：SPAC

### 『グリム童話 ～本物のフィアンセ～』 SPAC新作

愛と勇気の奇跡を描く、『グリム童話』待望の新作が早くも登場！
意地悪な継母の手によって引き裂かれた少女と王様。
真実の愛を取り戻すために少女が選んだ、
あまりにも意外な方法とは……？
――あなたは、〈偽物〉にだまされてはいませんか？

**3/3(土)・4(日)・10(土)・11(日)　各日 15:00開演**

**静岡芸術劇場(グランシップ内)**

演出：宮城 聰　作：オリヴィエ・ピィ　出演：SPAC

**2本立公演**(1日で2つの公演をご覧いただけます／2公演セット券有)

**2/25(土)　13:30開演『少女と悪魔と風車小屋』**
**16:00開演『本物のフィアンセ』**

### SPAC高校演劇フェスティバル2012　無料(要予約)

静岡市立商業高校(2011年2月)『特急寝台列車 ハヤワサ号』

**言葉と出会い、身体と出会う
もうひとつ先の非日常の世界へ**

未知の課題へ挑む高校生たちを、
SPACの俳優、演出家、舞台スタッフが全面サポート、
SPACならではの高校演劇フェスティバルです。
新しい表現の扉を開く若者たちの熱い闘いがここに。
今年の課題戯曲は現代フランスを代表する劇作家
オリヴィエ・ピィの「グリム童話」より、
『少女と悪魔と風車小屋』『本物のフィアンセ』の2作品。
俳優賞とスタッフ賞の栄冠は誰の手に!?

**2/5(日)・12(日)**

**舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」**

(一般の方もご観劇いただけます／要予約)

■一般1公演：4,000円　■早期購入割引：3,500円(「少女と悪魔と風車小屋」12月25日まで、「本物フィアンセ」2012年1月22日まで)
■2作品セット券：6,400円　■ペア割引：7,000円(ペアチケット2枚)　■学割：2,000円(大学生・専門学校生)／1,000円(高校生以下)
■ゆうゆう割引(満60歳以上の方対象)：3,400円／6,400円(ペアチケット2枚)　その他、各種割引がございます。

チケットをご購入の際はSPACチケットセンターまで **TEL.054-202-3399** (10:00～18:00)

SPAC SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER
芸術総監督 宮城聰
静岡県舞台芸術センター

SPAC　検索

TOPIC-1

## Wonder Forest 思いをこめて 夢と希望のクリスマスツツリー点灯式。(~12月25日(日)まで点灯)

11/19(土)、大雨の中、大勢の人が集まった点灯式。島田市立島田第二中学校合唱部の皆さんによるトーンチャイムを合図にスタートした。今年のツリーは、静岡市出身の布小物作家大野絵里さん制作・監修によるオリジナル。テーマは"Wonder Forest"。灯りが点るといよいよ幻想的な雰囲気に。アヴェマリアやアメージンググレイスなど、透き通った歌声がエントランスいっぱいに鳴り響いた。

TOPIC-2

## 連詩づくりに初挑戦! みんなの想像力がひとつに

11/8(火)、「2011年しずおか連詩の会」の開催を前に、袋井市春岡の市立山名小で児童が連詩創作に取り組むワークショップが開かれた。同会に参加する詩人の野村喜和夫さん、三角みづ紀さん、昨年度参加詩人の覚和歌子さんが講師を務め、6年生123人が参加した。「この星で生きている　空飛びたい　雲のりたい　願いはきっとかなう」(抜粋)など夢溢れる作品ができあがった。ワークショップは富士宮市立貴船小、浜松市立三ケ日東小でも行われた。

TOPIC-3

## バスケットボール 日韓王者が対決!

©AFRO SPORT/bj-league

9/29(木)、大ホール・海において日韓チャンピオンシップゲーム「浜松・東三河フェニックスVS全州KCCイージス」が行われた。プロバスケットのbjリーグにとって初めてとなる静岡市内開催。bjリーグのチャンピオン、浜松・東三河フェニックスは残念ながら敗れたものの、日韓チャンピオン同士のスーパープレイに2,500人の観客が酔いしれた。

TOPIC-4

## 狂言って何?本物の能楽師が小学校の教壇に

11/16(水)、静岡市の常葉学園大学教育学部附属橘小学校で狂言の公演が行われた。これは小学校6年生の国語の教科書に載っている狂言「柿山伏」を勉強する前に、本物の能楽師による狂言を鑑賞していただこうと企画が実現したもの。先生は和泉流狂言方の三宅右矩さん、三宅近成さん、金田弘明さんで、公演前に各クラスに分かれ授業を行った。生徒たちは皆、日本の伝統芸能に触れ目を爛々と輝かせていた。

TOPIC-5

## 原点から臨床神経生理学を見直す想いをこめて

11/10~12、「役立てよう深めよう臨床神経生理学」をメインテーマとして、第41回日本臨床神経生理学会学術大会ならびに第48回日本臨床神経生理学会技術講習会がグランシップ全館で開催された。シンポジウムやワークショップは臨床神経生理学の基本から最新の領域までを網羅するように構成され、国内外から集まった約1,300人の医療関係者らにとって有意義な大会となった。

TOPIC-6

## 未来の静岡の 文化芸術を担うチカラ

11/26(土)、中ホール・大地にて「平成23年度第10回静岡県総合文化祭」ステージ発表の部が開催され、全県から20校の中学校が参加。管弦楽・吹奏楽・混声合唱・和太鼓・演劇・剣舞・神楽など、様々なジャンルで日頃の部活動の成果を発表した。会場を埋めた約600人の観客からは、未来の芸術文化を担う若い力に大きな拍手が贈られた。

TOPIC-7

## あなたの声をグランシップに。 モニター募集中。

静岡県民の方から幅広くグランシップ主催事業に対する意見・感想を聴き、今後の運営・企画等に役立てるため、モニターを募集。

【申込方法】所定の申込用紙(グランシップHPからダウンロード可)もしくは自由書式に郵便番号・住所・氏名・電話番号・性別・年齢のほか、400字程度にまとめ、持参・郵送・FAX・E-MAILいずれかにて応募。3月15日(木)締切(必着)

【資格】静岡県内在住・通勤の18歳以上の男女

【期間】平成24年4月から平成25年3月まで

【活動内容】年間4回程度の意見交換会への出席(グランシップにて開催)、グランシップ主催事業を観覧しての感想・意見をアンケートにて提出(随時)

【応募・問合せ】〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 グランシップ「モニター」係
TEL 054-203-5714　FAX 054-203-5716
MAIL info@granship.or.jp　HP www.granship.or.jp

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

「グランシップアートコンペ2011」のグランシップ賞受賞作品の第3弾。透明感ある絵画やアニメーションが絵本のような「心の原風景」を紡ぎ出す。
※12/3まで。12/7からは第4弾、堀　園実さん「Out of focus」が展示開始。

タイトル／「記憶のちうちぇ」
制　作／前澤 妙子(川根本町出身)

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、
それぞれの心意気や感想、体験談をリポートします。

# SUPPORTER's VIEW

## 大きな館には 不思議な魔力が潜んでいます。

第11期サポーター　平常業務担当　鈴掛　早苗

先日、サポーターの自主企画「懐かしの映画会」を開催し、「伊豆の踊り子」「野菊の墓」など四本を上映しました。

私も大正の時代の雰囲気を盛り上げようと、天袋にしまってあった昔のかつらを引っぱり出して、銘仙の着物、鹿の子の帯、白い脚半、わらじも準備。山口百恵扮する薫の装束が揃うと、三浦友和扮する川島にも登場願って、一高の学帽、スタンドカラーのシャツ、着物、袴、高下駄と弾みがついてきます。鋸でベニヤを剝り貫いて皮を張り、太鼓としました。

メーキャップ室で思いっ切り白く粉を叩き真っ赤な口紅を引き、献上の帯に結んで貰って、結綿のかつらをのせると、もう私じゃない。引っ込み思案の私が凄みさえ感じられて、気がつけば舞台の上に乗せられています。

お客様はそんな事はよそに、かつて辿ったであろう踊り子の道に思いを馳せ、往年の夫婦は若かりし頃の懐かしいデートの思い出に浸っています。

「今朝のポストからこのチラシを見て飛んで来たよ」と驚きの表情で語る仲良し五人組の奥さまたち。ここは日常を離れた夢の空間。グランシップには、お客様も私たちスタッフも惹きつける不思議な魔力が潜んでいます。

Report 054

## READER's VIEW

◉ジャズコンサートの大ファンです。飲食店経営のため、行けずに残念なときも何度かありました。（中略）これからは商売をお休みしてでも、コンサート優先で楽しもうと思っています。今後も素晴らしい企画をお願いいたします。　〈静岡市・木村律子さん〉

◉小さな子どもを持つ母親です。グランシップでは、絵本のひろばへよく通っています。バレエ、オペラ、クラシックコンサート、ジャズコンサート…観に行くことが大好きですが、託児サービスを利用し、コンサートを満喫したことがあります。子どもも保育士さんや他のお子さんと楽しく遊び、親子で幸せな時間を過ごしました。またあの幸せな時間を味わいたい。託児付きの公演を増やしてください♥よろしくお願いします。　〈静岡市・岡田智子さん〉

◉RETURN TO FOREVERの先行予約をしたい、との一念で友の会に入会しました。あと4日で公演なのでとても楽しみです。浜松在住のため、グランシップには初めて行きます。早めに行って、RETURN TO FOREVERの前にグランシップを見てまわろうと思い、それもまた楽しみです。　〈浜松市・杉浦真人さん〉

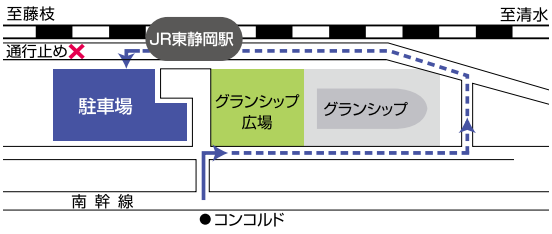
★グランシップおよび本誌「G.」に関するご意見、ご感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

## Editor's room

「文化芸術振興基本法」が公布されて、この12月7日で10年が経ちました。それまで文化財保護のための法律しか存在しなかった日本に、初めて国民の文化権が保障された法律が誕生したのでした。以来、フランス、韓国など諸外国に比較して充分とは言えない文化予算ですが、今日の経済状況の中で格別の減額にさらされることもなく、僅かずつですが予算は増え、1,031億円（でもGDP比0.11%です。）となりました。「箱物行政」と揶揄されてきた公立の文化施設も、総務大臣による地域創造大賞で顕彰された施設が60施設を越えました。一昨年の事業仕分けに対する抗議のメールが13万件、昨年芸術団体が中心になって集めた文化予算増額に対する署名は63万筆と、これまで多くの国民の声が挙げられなかった文化芸術分野に少しずつ変化が生じてきたようです。そして今、文化の一極集中を解消し、誰もが居住する地域で上質で多彩な芸術に触れられる環境を整備することが求められています。そのために全国に2,000以上あると言われる公立の文化施設が有効に活用されるよう、その役割が明記され、舞台芸術と事業運営のための専門家の配置をうたった法整備が必要！と公布記念日に開催されたシンポジウムでの音楽議員連盟の国会議員の力強い発言に期待したいものです。

グランシップ館長　田村 孝子

グランシップにお越しの際は、
混雑緩和のため、
**公共交通機関をご利用ください。**




●ACCESS／東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。
東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。

グランシップマガジン G［ジー］第53号 ●発行日／平成23年12月　●発行人／財団法人静岡県文化財団　〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4　TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716
●企画／グランシップ指定管理者 財団法人静岡県文化財団　●制作／㈱ビーエーシー　アートディレクション／高野 茂　取材・文／遠藤はる美 岡村智雄　デザイン・イラスト／井川明子　写真／山口敬三　表紙アート／望月通陽

手のひらに、明日をのせて。

NTT docomo

# あしたへ。

人は、前に向かって歩いて行く。

きょう無理だったことも、

あしたには実現できるかもしれない。

そんなあなたのそばにいて、

少しでもチカラになれたら、うれしい。

つながりたいときに、

つながりたい何かへ。

## walk with you

【お問い合わせ】ドコモの携帯電話からは局番なしの151（無料） 一般電話等からは 0120-800-000
（番号をよくお確かめのうえ、おかけください。なお、一部のIP電話からは接続できない場合があります。）

マナーもいっしょに
携帯しましょう。

あなたの暮らしのいつもそばに。

# 貯金もローンもJAバンク。

JAバンク静岡
県下JA・静岡県信連

http://www.jabank-shizuoka.gr.jp　または、インターネットで「JAバンク静岡」を検索!　JAバンク静岡　検索

GRANSHIP
静岡県コンベンションアーツセンター

静岡県コンベンションアーツセンター　グランシップ
指定管理者 財団法人静岡県文化財団　〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4　TEL.054-203-5714　FAX.054-203-5716
http://www.granship.or.jp